

学生もストライキで闘おう！

11・1集会後、元気に
銀座をデモ！

戦争をとめるのは わたしたちだ！

☆11・1 全国労働者集会が大成功！

11月1日、日比谷野外音楽堂で行われた全国労働者集会は5700人の労働者・学生・市民が集まり、大成功しました！

今年の集会はなにより、ウクライナや中東、そして東アジアを焦点に激しく進む戦争情勢のなかで開催されました。この情勢と真っ向から対決し、全国と韓国・ドイツ・トルコなど全世界から、「私たちはストライキで闘う！」のローガンどおり、戦争をとめ、社会を変えるためにストライキで闘う仲間が一堂に会する闘いが実現したのです！

「『韓国版安倍』と呼んでもまったくおかしくないパクネ政権に対決し、私たち民主労総は来る11月14日、全国20万労働者と農民がソウルに集結する総決起闘争を予定しています。またこれを始めとして11月と12月にかけてのゼネストで、勝利の瞬間まで決して退かず闘うことを決意しています」（韓国・民主労総代表団）「私たちドイツ機関士労組の組合員は、この1年間で合計400時間にのぼるストライキを行い、ドイツ鉄道当局の攻撃と闘ってきました。」（ドイツ機関士労組代表）「みなさんが戦争と闘い、われ

われも戦争と闘っているというのは、単なる偶然の一致ではありません。支配者たちはもっと搾取し、もっと略奪し、もっと戦争をやろうとしている。それに対しわれわれはともに、帝国主義戦争、軍国主義、すべての不正義の戦争と闘っています」（トルコ・「労働者国際連帯協会」UID-DER代表団）——社会のすべてを動かす労働者が職場から生産をとめるストライキにたちあがり、国境を越えて団結する——戦争を阻止する力が、ここにはっきりと示されました！



全学連

全日本学生自治会総連合(委員長・斎藤郁真)

03-3651-4861 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp

☆国家権力・大学当局との闘いに勝った!

11・1集会に至る過程は、安倍政権とその手先である警察権力、さらには大学当局との激突のなかできりひらかれました。全学連は9月、戦争法案反対の国会闘争の先頭にたち、それへの反動としてあった「監禁致傷」でつち上げ弾圧を打ち破り、10月19～20日には4人の学生を奪還したのです。反戦運動・学生運動つぶしの攻撃に対し、学生が団結して闘えば打ち破ることができること示した大勝利です。

こうした闘いの集大成としてあったものこそ、京都大学全学自治会・同学会がよびかけた10・27反戦バリケード・ストライキです。安倍政権が戦争に突き進むなかでの、研究費削減と軌を一にした軍事研究の開始、学費値上げの裏で画策される「経済的徴兵制」——こうした現実に対して叩きつけられた10・27ストライキは、学生が「大学・教育とはなにか?」「誰のためにあるのか?」を真っ向から問い、大学・教育を学生・労働者の手に奪い返す出発点を築きました。



☆京大ストライキにつづこう!

「今この情勢のなかで、『粛々と静かに行われている授業』が一秒たりとも許せない!」

(10・27集会での京大生アピール)

——この発言にあるように、今回のストライキこそが、この時代に対する私たち学生の回答です。動労千葉、全日本建設運輸連帯労組関西地区生コン支部、動労総連合、さらには韓国・民主労総、ドイツ・機関士労組…全国、全世界で戦争や労働者への攻撃に対してストライキがまきおこっているこの時代において、キャンパスから学生の実力闘争を復権させることこそがこうした闘いに応える道です。

そして10・27ストライキは、全国学生の闘いを新たなステージへと押し上げるものとなりました。京大に続いて全国の大学で、そしてなによりここ首都圏で、闘う学生自治会=ストライキのできる団結をつくりだそう。全世界の仲間、とりわけ11・14「民衆総決起」にむかって闘う韓国・民主労総の労働者・学生と連帯し、安倍政権打倒へ進もう!



今後の闘争スケジュール

- ◆ “今こそ星野文昭さんを取り戻そう” 11・29全国集会”
11月29日(日) 13:00～ 永田町・星陵会館にて (集会後、銀座デモ)
主催: 星野文昭さんを取り戻そう! 全国再審連絡会議
- ◆ 武田雄飛丸君「暴行」でつち上げ裁判 (控訴審・判決)
12月3日(木) 13:30～ 東京高裁にて (法廷は未定)
* 傍聴券配布制のため、13時までに裁判所入り口脇の配布所にお集まりください。
- ◆ 武田雄飛丸君「無期停学」処分撤回裁判 (控訴審・第2回)
2016年1月20日(水) 14:30～ 東京高裁822号法廷にて